

2日目 11月14日(金) A会場 AOSSA 8F 福井県県民ホール

9:00-10:30

シンポジウム 9

東日本大震災とその後の自然災害の教訓を踏まえて今後起こりうる災害に備える

司会：板垣 俊太郎 ((公)福島県立医科大学 医学部 神経精神医学講座 准教授)

司会：林 みづ穂 (仙台市精神保健福祉総合センター 所長)

S9-1 東日本大震災から14年を迎えた福島の子どもたち—県民健康調査からわかったこと—
板垣 俊太郎 ((公)福島県立医科大学 医学部 神経精神医学講座 准教授)

S9-2 「みちのく子どもコホート」研究からのメッセージー起こりうる災害への備えー
八木 淳子 (岩手医科大学 医学部 神経精神科学講座 教授)

S9-3 大規模自然災害における学校支援を考える
柳屋 二郎 (東京医科大学 精神医学分野 主任教授)

S9-4 能登半島地震の現場からの報告
菊知 充 (金沢大学 医薬保健研究域 医学系 医薬保健研究域 医学系 精神行動科学 教授)

S9-5 東日本大震災とその後の自然災害の教訓を踏まえて—今後起こりうる災害に備える
福地 成 (東北医科薬科大学 精神科学教室)

10:40-12:10

シンポジウム 12

子ども・若者の自殺を現場で予防する

司会：辻井 農亜 (富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座 客員教授)

司会：山田 敦朗 (名古屋市立大学大学院医学研究科 こころの発達医学寄附講座 教授)

S12-1 学校現場へ向けた児童精神科医の役割
船渡川 智之 (東邦大学医学部 精神神経医学講座 講師)

S12-2 子ども・若者の自殺未遂者支援に向けた救急医療機関での取り組み
三上 克央 (東海大学医学部 総合診療学系精神科学)

S12-3 子ども・若者の自殺を現場で予防する 児童相談所の現場から—自殺に対する課題と対応ー
上野 千穂 (京都市児童福祉センター診療所 診療療育課 診療所長)

S12-4 名古屋市子ども・若者の自殺危機対応チーム 支援者支援としての活動報告と課題、効果的な支援方法の検討
白石 みどり (株式会社スノーム 名古屋市子ども・若者の自殺危機対応チーム 統括管理者)

指定発言：岡田 俊 (奈良県立医科大学 精神医学講座)

12:20-13:20

共催セミナー 1 (塩野義製薬株式会社)

注意欠如多動症治療においてプログラム医療機器はどう位置づけられるのか

—エビデンスからみた可能性と課題

司会：小坂 浩隆 (福井大学医学部 精神医学)

演者：岡田 俊 (奈良県立医科大学 精神医学講座)

13:30-14:30

会長講演

井の中の蛙は誰だ！～児童青年精神医学の世界～

司会：岡田 俊 (奈良県立医科大学 精神医学講座)

演者：小坂 浩隆 (福井大学医学部 精神医学)

14:40-15:40

特別講演 2

青年期の病的体験に関する臨床的研究

司会：小坂 浩隆 (福井大学医学部 精神医学)

演者：杉山 登志郎 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

15:50-17:20

シンポジウム 17

摂食障害の入院治療 診療科でどう違う？

～小児科、児童精神科、精神科、心療内科、それぞれの強みを活かす～
司会：宮脇 大 (大阪市立総合医療センター 児童青年精神科 部長)

S17-1 摂食障害の入院治療～児童精神科の強みを生かす～
宮脇 大 (大阪市立総合医療センター 児童青年精神科 部長)

S17-2 大学病院心療内科における摂食障害の入院治療の例
吉内 一浩 (東京大学医学部附属病院 心療内科 病院教授)

S17-3 摂食障害の入院治療～小児科の強みを活かす～
井上 建 (獨協医科大学 こどものこころ診療センター)

S17-4 摂食障害の入院治療～精神科の強みを活かす～
原田 朋子 (大阪公立大学大学院 医学部・精神精神医学 講師)

2日目 11月14日(金) B会場 AOSSA 8F リハーサル室

9:00-10:30

子どもの人権と法に関する委員会セミナー

共同親権と子どもの人権

司会：閔 正樹 (大渕病院)

司会：田中 容子 (府中刑務所)

CS3-1 法的な問題

安保 千秋 (都大路法律事務所)

CS3-2 共同親権、医療保護入院の手続きの検証と議論の機会に、児童精神科救急の体制整備を進め、困難事例の児童が生存し治療支援をうけられる課題の整理と共有
幸田 有史 (京都府立洛南病院)

CS3-3 児童相談所職員の立場から共同親権と多職種連携の必要性についての考察
奥谷 朋子 (福井県児童・女性相談所 家庭支援課 課長 社会福祉士 公認心理師)

10:30-12:00

精神鑑定関連の症例検討

司会：今村 明 (長崎大学 生命医科学域保健学系作業療法学分野)

CS3-1 家族成員を殺害した少年の精神状態鑑定例

栗林 英彦 (岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター)

14:40-15:40

一般口演 16

摂食症 1

司会：牛島 洋景（うじまこころの診療所）

O16-1 児童・思春期の神経性やせ症を対象とした日本版マルチファミリーセラピーの実施可能性の検討

～中間報告～

○公家 里依^{1・2}、中野 未来³、児島 佳代子¹、倉橋 佳那¹、白石 健^{2・4}、牧田 みづほ²、

篠山 大明^{2・4}、本田 秀夫^{1・2}

1. 信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、

2. 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、

3. 信州大学医学部附属病院リハビリテーション部、4. 信州大学医学部精神医学教室

O16-2 なんで死にそうなほどやせすぎると分からぬ？進化精神医学の視点で解き明かす神経性やせ症の摂食制限型

○荒田 智史

こどもメンタルクリニック芝

O16-3 解離性障害と重複心因性疾患を伴う、心的外傷体験の暴露から ARFID に至る患者への心理治療

○堀内 愛佳、森本 武志

福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部

O16-4 神経性やせ症の体重増加における停滞域の定量的解析

○簡野 宗明、高橋 奈那、佐藤 文佳、水野 祐之介、山口 祐子、吉田 夕佳、藤橋 桃子

山形大学医学部 精神科

O16-5 一卵性双生姉妹の妹のみ発症した神経性やせ症を通じた病態の考察。

○塩津 大地、島田 尚子、佐々木 なつき、中村 雅之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 精神機能病学分野

15:50-16:50

一般口演 19

摂食症 2

司会：森野 百合子（成増厚生病院）

O19-1 精神科閉鎖病棟における児童思春期摂食症の多職種入院治療 1－成人例との治療構造の比較－

○辻元 健太郎¹、米田 拓矢²、長尾 海里³、服部 律子⁴、柴田 直人⁵、上月 遥¹、磯部 昌憲¹

1. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、2. 京都大学医学部附属病院 精神科相談室、

3. 医療法人 稲門会 いわくら病院、4. 愛知医科大学病院 精神神経科、

5. 京都大学医学部附属病院 デイケア診療部

O19-2 精神科閉鎖病棟における児童思春期摂食症の多職種入院治療 2

－成人例における PSW の役割との比較－

○米田 拓矢⁴、長尾 海里²、服部 律子³、柴田 直人⁵、辻元 健太郎¹、上月 遥¹、磯部 昌憲¹

1. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、2. 医療法人 稲門会 いわくら病院、

3. 愛知医科大学病院 精神神経科、4. 京都大学医学部附属病院 精神科相談室、

5. 京都大学医学部附属病院 デイケア診療部

O19-3 精神科閉鎖病棟における児童思春期摂食症の多職種入院治療 3

－心理士介入における成人例との比較－

○長尾 海里¹、辻元 健太郎²、米田 拓矢²、服部 律子³、柴田 直人²、上月 遥²、磯部 昌憲²

1. 稲門会 いわくら病院、2. 京都大学医学部附属病院、3. 愛知医科大学病院

O19-4 精神科閉鎖病棟における児童思春期摂食症の多職種入院治療 4－成人例との作業療法の比較－

○服部 律子¹、辻元 健太郎⁵、米田 拓矢⁴、長尾 海里⁶、柴田 直人³、上月 遥²、磯部 昌憲²

1. 愛知医科大学病院 精神神経科、2. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、

3. 京都大学医学部附属病院 デイケア診療部、4. 京都大学医学部附属病院 精神科相談室、

5. 京都大学医学部附属病院、6. 医療法人 稲門会 いわくら病院

O19-5 精神科閉鎖病棟における児童思春期摂食症の多職種入院治療 5

－治療構造に沿った OT 介入の実際と多職種介入の重要性－

○柴田 直人¹、辻元 健太郎²、米田 拓矢³、長尾 海里⁴、服部 律子⁵、上月 遥⁶、磯部 昌憲⁷

1. 京都大学医学部附属病院 デイケア診療部、2. 京都大学医学部附属病院、

3. 京都大学医学部附属病院 精神科相談室、4. 医療法人 稲門会 いわくら病院、

5. 愛知医科大学病院 精神神経科、6. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、

7. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科

17:00-18:00

一般口演 22

統合失調症圏

司会：石飛 信（仁恵病院 精神科）

O22-1 超早期発症治療抵抗性統合失調症にクロザピンが奏功した一症例

—クロザピンの適切な導入時期の検討—

○森 貴俊¹、川原 紘子^{2・3}、野畠 宏之¹、畠田 けい子²

1. 心療内科新クリニック、2. 厚生会 道ノ尾病院、3. 長崎大学病院 精神神経科学教室

O22-2 急性精神病症状を契機に抗 N-methyl-D-aspartate (NMDA) 受容体脳炎と診断された 10 代女児の 1 例

○若林 伊織、嶋岡 修平、中島 公博

1. 医療法人社団 五稜会病院

O22-3 統合失調症の症状を呈しつつ、自傷及び市販薬の乱用を繰り返し、約 2 年間入退院を繰り返した後、幻覚妄想状態を顕在発症した青年期の一例

○白木原 和薰、木村 一優

医療法人社団新新会 多摩あおば病院

O22-4 妄想性人物誤認症候群を呈した 15 歳男児の 1 例

～児童思春期症例における精神病理及び力動的考察を踏まえて～

○石田 寛佳、長沢 崇

東京都立小児総合医療センター

2日目 11月 14日 (金) C会場 AOSSA 7F 706・707

9:00-10:00

一般口演 10

ASD 3

司会：鬼頭 有代（医療法人いちえ 有希クリニック）

O10-1 過集中を活かし、自己肯定感を向上させた自閉スペクトラム症の一例

○山形 祥礼¹、辻井 農亜²、佐久田 静¹、橋本 衛¹

1. 近畿大学病院精神神経科、2. 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

O10-2 自閉スペクトラム症者の発達特性を共有するペア・ワークがその友人関係・自己理解に与える影響に関する発達臨床心理学的考察 奈良県高機能自閉症児・者の会アスカでのグループ余暇支援活動 20 年の歩み①

○櫻井 秀雄¹、出口 紗英子²

1. 関西福祉科学大学、2. 和歌山県立こころの医療センター

O10-3 病棟を逃げだした自閉スペクトラム症男児が「男」になるまでの入院経過

○河野 悠介、宇佐美 政英、箱島 有輝、水本 有紀、稻崎 久美

1. 国立国府台医療センター 児童精神科

O10-5 自閉スペクトラム症の子どもと親を対象とした Parent-Child Interaction Therapy の有用性の検討

—『洞察力』の変化に着目して—

○杉田 理緒¹、細金 奈奈^{2・3}、木原 望美^{1・3・4}、山口 貴史^{1・3・4}、齋藤 真樹子^{1・3・4}、酒井 真優^{1・4}、齊藤 万比古^{1・5}、小平 雅基^{1・2・3・4}

1. 愛育産後ケア子育てケアステーション 子どものこころ相談室、

2. 総合母子保健センター 愛育クリニック小児精神保健科、

3. 愛育研究所 児童福祉・精神保健研究部、

4. 総合母子保健センター 愛育クリニック医療福祉室、5. 愛育研究所

10:10-11:10

一般口演 12

ASD 4

司会：伊藤 一之（静岡県立こども病院）

O12-1 母の逝去前に Advance Care Planning を行った自閉スペクトラム症の姉妹例

○矢野 瑞季¹、森 尚子²、長沢 崇¹

1. 東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科、

2. 東京都立小児総合医療センター血液・腫瘍科、緩和ケア科

O12-2 自閉症スペクトラム症、注意欠如多動症を併合し、当初は入院加療を必要とした児の 10 年の経過について

○山崎 史暁¹、佐々木 剛¹、廣瀬 祐紀²、御園 覚夫²、永野 顯信²

1. 千葉大学医学部 こどものこころ診療部、2. 千葉大学医学部附属病院 精神神経科

O12-3 自閉スペクトラム症児の聴覚過敏に関連する不快閾値と行動特性の検討

○加藤 陽子^{1・2}、中西 真理子¹、藤野 陽生^{1・3}、橘 雅弥^{1・4}、毛利 育子^{1・4}、下野 九理子^{1・4}

1. 大阪大学大学院 連合小児発達学研究科、2. びわこリハビリテーション専門職大学、

3. 大阪大学大学院 人間科学研究科、4. 大阪大学大学院 医学系研究科

O12-4 なんで折れ線型になるの？－共感性とシステム化のゼロサム説から解き明かす自閉スペクトラム症

荒田 智史

こどもメンタルクリニック芝

O12-5 逆境の生育歴を背景に行動化を繰り返した自閉スペクトラム症女児の入院治療

○馬 敏宰、山本 啓太、橋本 彩加、板垣 琴瑛、箱島 有輝、稻崎 久美、水本 有紀、宇佐美 政英

1. 国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター

11:20-12:20

一般口演 14

学校精神保健 1

司会：長沢 崇（東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科）

O14-1 名古屋市中学校スクールカウンセラー常勤化後の生徒の相談率、認知度、満足度の推移：反復横断調査の結果

○稻葉 啓通¹、坂田 昌嗣²、坪井 裕子³、山田 敦朗²

1. 京都大学医学部附属病院精神科神経科、

2. 名古屋市立大学大学院医学研究科 こころの発達医学寄附講座、

3. 名古屋市立大学大学院人間文化研究科

O14-2 高校生におけるスマホ等使用環境と健康リスク～視力・生活適応との関連～

○村山 達哉¹、黒田 美保²

1. 田園調布学園高等部、2. 田園調布学園大学

O14-3 普通級と支援級の選択により情動発達に差異を認めた一卵性双生児

○中村 晃士^{1・2}、湯澤 美菜¹

1. 湯澤医院、2. 押上こころのクリニック

O14-4 中学校移行における神経発達症特性と社会的環境因の影響：潜在遷移分析を用いた縦断的解析

○森 裕幸^{1・2}、高橋 芳雄^{2・3}、足立 匠基^{2・4}、長田 真人⁵、足立 みなみ⁵、中村 和彦^{2・5}

1. 埼玉学園大学、2. 弘前大学大学院医学研究科附属子どものこころの発達研究センター、

3. 東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター、4. 明治学院大学 心理学部、

5. 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座

O14-5 中学生の抑うつや自傷などの COVID-19 前後での変化～ A 中学校での健康調査結果から

○清田 晃生¹、小笠 祥子²

1. 大分療育センター、2. 法政大学イノベーション・マネジメント研究科

14:40-15:40

一般口演 17

不登校 1

司会：補永 栄子（大阪大学）

O17-1 長期に不登校であった中学3年生男児の任意入院の治療経過

○酒匂 雄貴、山本 啓太、橋本 彩加、板垣 琴瑛、箱島 有輝、稲崎 久美、水本 有紀、宇佐美 政英
国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター

O17-2 不登校児童に対する訪問看護における多職種連携の取り組み

○沖田 美雪、瀧谷 佐季、小池 友香、永井 司、北村 舞香、佐々木 瞭、渡部 弥生、下里 侑子、
那須野 清夏、石川 愛実、立野 慶
医療法人社団ユニメディコ 藤が丘こころのクリニック

O17-3 不登校児童への新たな包括的アウトリーチとして一訪問診療を中心とした多職種連携一

○北村 舞香、沖田 美雪、永井 司、後藤 詩織、小池 友香、瀧谷 佐季、佐々木 瞭、渡部 弥生、
下里 侑子、那須野 清夏、石川 愛実、立野 慶
医療法人社団ユニメディコ 藤が丘こころのクリニック

O17-4 不登校児童における発達特性および感覚特性と再登校の関連

－感覚プロファイル短縮版と自閉症スペクトラム指數を用いた検討
○永井 司、後藤 詩織、小池 友香、瀧谷 佐季、渡部 弥生、那須野 清夏、石川 愛実、沖田 美雪、
佐々木 瞭、北村 舞香、下里 侑子、立野 慶
医療法人社団ユニメディコ 藤が丘こころのクリニック

O17-5 当院の不登校児童における精神保健福祉士の活動報告

○小池 友香、立野 慶、後藤 詩織、佐々木 瞭
医療法人社団ユニメディコ 藤が丘こころのクリニック

15:50-16:50

一般口演 20

不登校 2

司会：松崎 秀夫（福井大学子どものこころの発達研究センター）

O20-1 当院における不登校児童に対する在宅訪問リハビリテーションについて

○後藤 詩織、小池 友香、永井 司、瀧谷 佐季、佐々木 瞭、渡部 弥生、下里 侑子、沖田 美雪、
那須野 清夏、石川 愛実、北村 舞香、立野 慶
医療法人社団ユニメディコ

O20-2 ゲーム依存傾向のある不登校児とその家族へのオープンダイアローグの手法に基づいた診療の試み

○永野 志歩^{1・2}、山路 由夏¹、中村 哲也¹、大原 伸騎¹
1. 高知医療センター、2. 高知大学保健管理センター医学部分室

O20-3 通院を拒否する不登校事例の長期の家族支援について

○稻垣 卓司¹、和氣 玲²、山下 智子³
1. 島根大学医学部看護学科、2. 島根大学医学部出雲保健管理センター、
3. 島根大学医学部精神科神経科

O20-4 不登校はなぜ日本だけでますます増えてるの？文化結合症候群としてとらえ直すと見えてくる根本的な原因とは？－成人した子どもへの扶養義務という呪縛

○荒田 智史¹、杉野 珠理²
1. こどもメンタルクリニック芝、2. 武蔵野音楽大学

O20-5 不登校児童に対する訪問診療におけるメディカルソーシャルワーカーの活動報告

○石川 愛実、瀧谷 佐季、後藤 詩織、渡部 弥生、小池 友香、佐々木 瞭、沖田 美雪、永井 司、
那須野 清夏、下里 侑子、北村 舞香、立野 慶
医療法人社団ユニメディコ

17:00-18:00

一般口演 23

心理社会的援助・家族支援 1

司会：吉田 弘和（宮城県立精神医療センター）

O23-1 精神疾患を抱える思春期患者におけるソーシャルVR対話の心理的效果：NHK『プロジェクトエイリアン』を用いた予備的検討

○藤田 純一、高山 みづほ
横浜市立大学附属病院 児童精神科

O23-2 神経発達症の外来診療における描画に対する養育者の反応

○武田 俊信¹、廣田 愛海²、松原 愛³、平野 真理⁴
1. 龍谷大学心理学部、2. お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科、
3. 龍谷大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻、4. お茶の水女子大学基幹研究院

O23-3 『きょううだい児』の視点を取り入れた治療支援の一例

○神谷 俊介¹、中島 康輔²、吉村 有希¹、鈴木 龍太郎²、小野 剛^{1・3}、稻田 健¹
1. 北里大学医学部精神科学、2. 北里大学医学部精神科学 地域児童精神科医療学、
3. 東日本少年矯正医療・教育センター

O23-4 知的境界域の児童の母親への支援導入に向けた心理的支援の実践

－学校・福祉との連携による支援展開の一事例－
○服部 智花^{1・2}、宋 大光¹
1. 宋こどものこころ醫院、2. NPO 法人びーす

O23-5 小児期より統合失調症の母に対するヤングケアラーとなっていた自閉スペクトラム症の若年女性に対する心理社会的支援の経験

○桑原 明子、飯田 直子、池上 明希
京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学

2日目 11月14日（金）D会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ 研修室 601

9:00- 9:50

教育講演 4

算数の不全算数障害、こんなことで困っています-当事者の視点から-

司会：荻野 和雄（医療法人 厚生会 福井厚生病院 ストレスケア科）
演者：藤岡 徹（福井大学 学術研究院教育・人文社会系部門）
演者：前澤 里枝子（嶺北特別支援学校 小学部）

10:00-10:50

教育講演 5

摂食症治療のすすめどう限られた時間で「生きづらさ」にアプローチするのか

司会：森野 百合子（成増厚生病院 なります子どものこころケアセンター）
演者：永田 利彦（壱燈会 なんば・ながたメンタルクリニック）

11:00-11:50

教育講演 6

児童・思春期精神医療における多職種連携

司会：齊藤 まなぶ（弘前大学 大学院保健学研究科心理支援科学領域）
演者：宇佐美 政英（国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター 児童精神科）

12:20-13:20

共催セミナー2（ノーベルファーマ株式会社）

若者の未来を守るために、「朝起きられない」を治療する～睡眠障害・神経発達症の観点から～

司会：堀内 史枝（愛媛大学大学院 医学系研究科 児童精神医学講座）

演者：志村 哲祥（東京医科大学睡眠学講座 財団法人神経研究所 国立精神・神経医療研究センター）

13:30-14:20

教育講演7

児童福祉法改正、子ども基本法によって、現場はどう変わったのか？

司会：柳生 一自（北海道医療大学 心理科学部 臨床心理学科）

演者：薬師寺 真（岡山県倉敷児童相談所）

14:40-16:10

シンポジウム15

児童・思春期のメンタルヘルスと社会的処方：レジストリデータ利活用の可能性

司会：辻井 農亜（富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座 客員教授）

司会：宇佐美 政英（国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター 児童精神科）

S15-1 レジストリを活用した児童精神科診療の質的評価と効率的かつ効果的な支援や治療法の開発

佐々木 祥乃（東京科学大学 精神行動医科学分野）

S15-2 小児期逆境体験と心的外傷後ストレス症診断の関連：児童思春期レジストリデータに基づく臨床的特徴の検討

柳 百合子（国立精神神・経医療研究センター 認知行動療法センター）

S15-3 ODD併存 ADHD児における処方傾向と包括的支援の検討

木原 弘晶（金沢医科大学病院 精神神経科学 学内講師）

S15-4 児童思春期レジストリデータに基づく死別を経験した症例の診断と精神症状の検討

猪俣 珠恵（国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター 研究開発部）

16:20-17:50

生涯教育に関する委員会セミナー

児童精神科医への道のりー児童精神科研修の実際ー

司会：岡崎 康輔（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしげさん こどものこころ診療センター）

CS5-1 都道府県別子どものこころ専門医の分布と自殺・虐待発生率との関連

佐々木 祥乃（東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野）

CS5-2 精神科・児童精神科・小児科で協力する名古屋大学の研修プログラム

加藤 秀一（名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科）

CS5-3 学生へのエクスポートジャーナル始まる児童精神科医の育成－奈良医大での実践を通して－

水井 亮（奈良県立医科大学精神医学講座）

CS5-4 オンラインでつながる!福井モデルの教育体制～児童精神科医のキャリアパスを支える仕組み～

眞田 陸（福井大学医学系部門病態制御医学講座精神医学）

CS5-5 児童精神科病棟で児童精神科臨床を学ぶということ

尾崎 仁（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）

2日目 11月14日(金) E会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ レクリエーションルーム

9:00-10:30

シンポジウム10

児童精神科病棟運用に関する現状と課題～制約ある公的病院でのとりくみ～

司会：水本 有紀（国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター 児童精神科 医師）

司会：堀内 史枝（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座 教授）

S10-1 児童思春期病棟開設後1年の現状と課題

織田 侑南（愛媛県立子ども療育センター 小児精神科 医長）

S10-2 大学病院の児童精神科専用病棟の現状と課題

山家 健仁（岩手医科大学 医学部神経精神科学講座 講師）

S10-3 国府台医療センター児童精神科の入院治療について

箱島 有輝（国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター 児童精神科 医師）

S10-4 三重県の子ども臨床を支える児童精神科病棟であるために

ーあすなろ学園から子ども心身発達医療センターへー

中西 大介（三重県立子ども心身発達医療センター 児童精神科 センター長）

指定発言：岩垂喜貴（駒木野病院 精神科 児童精神科部長）

10:40-12:10

シンポジウム13

医療・教育連携：有機的な連携のあり方とは

司会：佐々木 剛（千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部・精神神経科 准教授）

司会：堀内 史枝（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座 教授）

S13-1 医療学校連携の現状と課題ー有機的な連携の手がかりを考えるー

上月 遥（京都大学医学部附属病院 精神科神経科 助教）

S13-2 神経発達症児に関する医療・教育連携の影響ー保護者の視点から

井上 彩織（愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座）

S13-3 医療・教育連携：有機的な連携のあり方とはー地域のクリニックでの取り組み

梶梅 あい子（あおさきこども心療所）

S13-4 医療・教育機関：有機的な連携のあり方とは

～深刻な暴言・暴力を呈する女児Aに対する認知行動療法の応用～

松浦 直己（三重大学 教育学部 教授）

指定発言：岡田 俊（奈良県立医科大学 精神医学講座 教授）

14:40-16:10

倫理委員会セミナー

カルテ開示についての倫理的課題

座長：森本 芳郎

座長：佐々木 宏太

CS4-1 神奈川県立こども医療センターにおける診療録開示の現状

庄 紀子（神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科）

CS4-2 診療録開示に悩むとき

中土井 芳弘（独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 児童精神科）

指定討論：安保 千秋

16:20-17:50

シンポジウム 18

社会的養護と児童精神科医療の連携について

司会：早川 洋（こどもの心のケアハウス 嵐山学園）

司会：山根謙一（九州大学病院 子どものこころの診療部）

S18-1 児童心理治療施設のインケアとアフターケア

早川 洋（こどもの心のケアハウス 嵐山学園）

S18-2 一時保護委託における児童相談所と精神科医療の連携実態と課題

陶山 寧子（横浜市こども青少年局こども福祉保健部 横浜市中央児童相談所 医務担当部長）

S18-3 社会的養護と児童精神科医療の連携 医療の立場から

香月 大輔（九州大学病院 子どものこころの診療部）

指定発言：斎藤 万比古（恩賜財団母子愛育会 愛育研究所）

2日目 11月14日（金）F会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ 研修室 607

10:10-11:10

ポスター7

心理社会的援助・家族支援 2

司会：水野 有香（福井大学医学部精神医学）

P7-1 発達障害児の親を対象としたペアレントトレーニングの効果

－自閉スペクトラム症児と注意欠如多動症児の親の比較－

○宮地 香澄、関 正樹

医療法人仁誠会 大湫病院

P7-2 家族イメージ法（FIT）の定量的評価と青年期のメンタルヘルスリスクの関連

○福榮 太郎¹、柴田 康順²、佐藤 篤司³

1. 横浜国立大学、2. 大正大学、3. 国際医療福祉大学

P7-3 親子の視点のズレは子どものメンタルヘルスにどう影響するか：養育態度の主観的評価と評価差分

に基づく抑うつとの関連

○奥田 奈菜¹、蒲 みのり¹、打和 望実¹、足立 匡基^{2·3·4}

1. 明治学院大学大学院心理学研究科心理学専攻、2. 明治学院大学心理学部、

3. 弘前大学大学院医学研究科精神神経医学講座、4. 公益社団法人子どもの発達科学研究所

P7-4 援助志向性とセルフ・コンパッションは愛着の不安定性をどう緩衝するか：育児否定的感情をめぐる父母別の媒介モデル分析

○打和 望実²、蒲 みのり²、奥田 奈菜²、足立 匡基^{1·3·4}

1. 明治学院大学心理学部心理学科、2. 明治学院大学大学院心理学研究科、

3. 弘前大学大学院医学研究科精神神経医学講座、4. 公益社団法人子どもの発達科学研究所

P7-5 Wechsler 検査とスクリーニング検査の関連の検討

○村嶋 隼人¹、上月 恵里¹、岩橋 多加寿²、奥野 正景¹、遠藤未菜^{1·2}

1. 医療法人サヂカム会三国丘こころのクリニック／三国丘病院、

2. 医療法人サヂカム会三国丘こころのクリニック

10:10-11:10

ポスター8

外来・入院統計4

司会：原田 剛志（パークサイドこころの発達クリニック）

P8-1 奈良県総合医療センター精神科における児童思春期の入院診療の実態調査

○神川 浩平^{1·2}、太田 豊作³、疋地 崇広^{1·2}、後藤 晴栄^{1·2}、飯田 順三⁴、岡田 俊²

1. 奈良県総合医療センター 精神科、2. 奈良県立医科大学 精神医学講座、

3. 奈良県立医科大学 人間発達学、4. 万葉クリニック 子どものこころセンター紹介

P8-2 当院における外国にルーツをもつ児童青年期患者の動向

○徳丸 淑江、市川 千智、中島 美千世

Koharu terrace Clinic

P8-3 静岡県立こども病院こころの診療科外来・リエゾン診療における過量服薬に関する分析

○増田 直哉、大石 晃、伊藤 一之、渥美 委規、八木 敦子、氏家 純平

静岡県立こども病院

P8-4 東京都立豊島病院精神科救急において緊急措置診察となった広汎性発達障害患者の傾向と変遷：
2017-2024 年度の8年間の解析

○菅原 直也、片岡 宗子

東京都立豊島病院

P8-5 初診後1年以内に診断が変更された児童精神科患者の臨床的特徴について－症例対照研究－

○伊藤 佑美¹、佐々木 祥乃¹、宇佐美 政英²、箱島 有輝²、稻崎 久美²、水本 有紀²、辻井 農亜³、
三上 克央⁴

1. 東京科学大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野、

2. 国立健康危機管理研究機構国立国府台医療センター 児童精神科、

3. 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座、

4. 東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学

11:20-12:20

ポスター 11

心理社会的援助・家族支援 3

司会：滝口 慎一郎（平谷こども発達クリニック）

P11-1 2歳を中心とした幼児の育児に困難を覚える保護者に対するペアレント・プログラムの効果の検討—保護者、介入実施者双方による評価—

○野原 茉絵¹、葛森 英史²

1. 北海道釧路鶴野支援学校、2. 北海道教育大学旭川校

P11-2 当院におけるPCIT（親子相互交流療法）の導入と実践

○白井 澄、中土井 芳弘、岸本 久美子

四国こどもとおとの医療センター

P11-3 精神科病院における児童思春期外来作業療法の実践と今後の課題

○ダウナー 茜¹、久世 由姫¹、見山 朋恵¹、河邊 憲太郎^{1・2}

1. 一般財団法人 創精会 松山記念病院、2. 愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学

P11-4 神経発達症児の保護者が集団心理教育に求めるテーマ

～「発達障害の家族講座」のアンケートから～

○児島 佳代子¹、久保木 智洸^{2・3}、倉橋 佳那¹、牧田 みづほ⁴、白石 健^{4・5}、公家 里依^{1・4}、

篠山 大明^{4・5}、本田 秀夫^{1・4}

1. 信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部、2. 信州大学大学院総合医理工学部研究科、

3. 山梨県立大学 人間福祉学部福祉コミュニティ学科、

4. 信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室、5. 信州大学医学部 精神医学教室

P11-5 自閉スペクトラム症および注意欠如・多動症の子どもを対象としたアンガーマネジメントプログラムの探索的研究—怒りの感情対処に重きを置いたプログラムの効果検証—

○倉橋 佳那¹、児島 佳代子¹、中野 未来²、牧田 みづほ³、白石 健^{3・4}、公家 里依^{1・3}、

篠山 大明^{3・4}、本田 秀夫^{1・3}

1. 信州大学医学部附属病院子どもこころ診療部、

2. 信州大学医学部附属病院リハビリテーション部、

3. 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、4. 信州大学医学部精神医学教室

11:20-12:20

ポスター 12

ASD 5

司会：猪股 誠司（湘南福祉センター診療所）

P12-1 思春期の自閉スペクトラム症患者を対象とした集団音楽療法の有効性の検討

○持田 訓子^{1・4}、星野 謙太²、藤田 純一³

1. 横浜市立大学、2. 横浜市立大学附属病院精神科、3. 横浜市立大学附属病院児童精神科、

4. 横浜創英大学

P12-2 いじめを受け心的外傷後ストレス症を発症した自閉スペクトラム症男児：被害体験を語りうるようになるまでの道程

小山 恵梨佳

岐阜県立希望が丘子ども医療福祉センター

P12-3 「河島教材」を用いた自閉スペクトラム症児への家庭療育：その支援の試み

○市川 千智^{1・2}、徳丸 淑江^{1・2}、夫馬 裕太¹、柳澤 尚実¹、栗林 英彦¹、高岡 健¹、中島 美千世²

1. 岐阜県立希望が丘子ども医療福祉センター、2. Koharu terrace Clinic

P12-4 自閉スペクトラム症者のカモフラージュ：当事者の認識するメリットとデメリット

砂川 芽吹

お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系

P12-5 中学入学後の不適応により、微小妄想、自己不潔恐怖を伴って、物の擬人化が顕在化した自閉スペクトラム症の特性を有する14歳女児の1例

○田村 和世、吉川 陽子、中井 大貴、魚住 広之、橋本 亮、山本 直毅、飯塚 理、後藤 彩子、
松島 章晃、横田 伸吾、黒田 健治

阪南病院

14:40-15:40

ポスター 15

基礎研究・脳画像研究など

司会：義村さや香（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻）

P15-1 ビフィズス菌による幼少期のマウスの攻撃行動への影響

○花輪 球太、三上 克央、渡邊 己弦、木本 啓太郎、高世 駿也、赤間 史明、山本 賢司
東海大学医学部付属病院

P15-2 大学生の自己理解と発達障がい特性に関する探索的研究

辻 由依

札幌学院大学

P15-3 青年期における社交不安の評価尺度：Social Phobia Scale (SPS) とその短縮版 (SPS-6) の検証

○加藤 充訓¹、井出 草平^{2・3}、眞田 陸³、小野沢 祐哉¹、鈴木 太¹
1. 社会医療法人杏嶺会 上林記念病院、2. 多摩大学情報社会学研究所、
3. 福井大学医学部精神医学

P15-4 前頭葉機能における成育環境による影響の検討

○滝口 慎一郎¹、水島 栄²、齋藤 大輔³

1. 平谷こども発達クリニック、2. 北里大学大学院 医療系研究科発達精神医学、
3. 安田女子大学 心理学部現代心理学科

P15-5 Late Preterm 児における神経発達予後 – ABCD Study の大規模脳画像データからの知見

○吉馴 亮子^{1・2}、友田 明美^{1・2}

1. 福井大学医学部附属病院、2. 福井大学子どものこころの発達研究センター

14:40-15:40

ポスター 16

ASD 6

司会：藤田 純一（横浜市立大学精神医学教室）

P16-1 福祉との連携で地域移行した強度行動障害を伴う重度知的障害、自閉スペクトラム症の 10 代の一例

山元 美和子、會田 千重、三好 紀子、浪花 孝明、大坪 建、諸岡 知美、石津 良子、山下 葉子
肥前精神医療センター

P16-2 児童思春期の自閉スペクトラム症児における抑うつ状態

— Birleson 自己記入式抑うつ評価尺度 (DSRS-C) を用いて—

○五十嵐 知子¹、平岩 明子^{2・3}、金子 直史¹、立花 春子¹、高崎 麻美²、水本 有紀⁴、稻崎 久美⁴、
箱島 有輝⁴、板垣 琴瑛⁴、山本 啓太⁴、木原 弘晶⁵、宇佐美 政英⁴、辻井 農亜³

1. 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、2. 富山大学学術研究部医学系小児科、
3. 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座、4. 国立国府台医療センター児童精神科、
5. 金沢医科大学精神神経科学

P16-3 血液検査を拒否する自閉症スペクトラム児の検討

渡部 泰弘

秋田県立医療療育センター 小児科

P16-4 自閉スペクトラム症者を対象とした就労準備プログラムの作用と帰趨状況

○内田 晃裕¹、西村 大樹^{1・2・3}、藤田 純嗣郎¹、小西 菜緒¹、南場 美沙都¹

1. 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター、2. 岡山大学社会文化科学研究科客員研究員、
3. 岡山大学教育推進機構

P16-5 自閉スペクトラム症特性と感覚処理特性および不適応行動の関連

—ネットワーク分析を用いた個別項目レベルの検討—

○春日 佑都¹、足立 匠基²

1. 早稲田大学 大学院 人間科学研究科、2. 明治学院大学心理学部心理学科

11:20-12:20

ポスター 13

リエゾン・治療連携 2

司会：岡崎 玲子（福井大学保健管理センター）

P13-1 精神疾患をもつ母親における授乳方法の検討：疾患別の比較と向精神薬使用との関連

○藏満 彩結実、大井 一高、塩入 俊樹
岐阜大学医学部附属病院精神科

P13-2 小児医療における子どもの死の概念とグリーフケアに関する文献調査

三宅 和佳子
兵庫県こころのケアセンター

P13-3 駒木野病院児童青年期サポートルーム「すこやか」の取り組み①関係性からはじまる回復

～多職種チームの実践と“名なき支援”的意義～

○伊東 史エ、岩垂 喜貴、吉田 奈緒美、笠原 麻里、岡野良子
医療法人財団青溪会 駒木野病院

P13-4 単一施設に勤務する小児科医を対象とした、10 代の自傷・自殺に関する意識と対応教育の効果

—TALK 原則に基づく講義による態度変容と教育ニーズの検討—

中村 俊一郎
慶應義塾大学医学部小児科

P13-5 急性リンパ性白血病の治療経過で、反復する攻撃性の爆発が出現した一例

○安本 真衣¹、大坂 陽子¹、湯淺 慧吾²、佐野 滋彦²、亀谷 仁郁²、宮岸 良彰²、廣澤 徹¹、
菊知 充²

1. 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科児童青年期精神医学講座、

2. 金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学

2日目 11月14日(金) G会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ 研修室 602

10:10-11:10

ポスター 9

リエゾン・治療連携 1

司会：大瀧 和男（かずおメンタルクリニック）

P9-1 三重県立子ども心身発達医療センターにおける児童精神科初診と地域支援ネットワークについて

○高木 千恵、中西 大介

三重県立子ども心身発達医療センター

P9-2 児童発達支援事業所、放課後等デイサービスにおける食育プログラムに関わる管理栄養士の活動報告

○那須野 清夏^{1・2}、渡部 弥生^{1・2}、後藤 詩織^{1・2}、小池 友香^{1・2}、永井 司^{1・2}、瀧谷 佐季^{1・2}、
石川 愛実^{1・2}、佐々木 瞭^{1・2}、北村 舞香²、下里 侑子²、立野 慶²

1. 医療法人社団ユニメディコ 児童発達支援・放課後等デイサービス ばにー、

2. 医療法人社団ユニメディコ 藤が丘こころのクリニック

P9-3 駒木野病院児童青年期サポートルーム「すこやか」の取り組み②成人病棟に分散する児童・青年

期患者のための居場所づくり：青年期入院グループの試み

○伊東 史エ、岡野 良子、岩垂 喜貴、吉田 奈緒美、笠原 麻里

医療法人財団青溪会 駒木野病院

P9-4 長期入院の小児がん治療中にみられた行動上の問題に対して心理教育と多職種支援を行った一例

○平岩 明子^{1・2}、高崎 麻美²、五十嵐 知子³、金子 直史³、立花 春子³、辻井 農亜¹

1. 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座、2. 富山大学学術研究部医学系小児科、
3. 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座

14:40-15:40

ポスター 17

強迫症・チック症など 2

司会：松浦 広樹（ハートランドしげさん）

P17-1 奈良県立医科大学精神科児童思春期外来における強迫症に対する選択的セロトニン再取り込み阻害剤の処方調査

○濱野 泰光¹、水井 亮¹、平井 靖明¹、土居 史磨¹、北野 肖奈¹、山中 清里¹、生野 兼広¹、
安田 真和¹、前田 祐里²、後藤 晴栄³、山室 和彦^{1·4}、浦谷 光裕⁵、太田 豊作⁶、岡田 俊¹
1. 奈良県立医科大学 精神医学講座、2. 万葉クリニック 精神科、
3. 奈良県総合医療センター 精神科、4. 奈良県立医科大学 健康管理センター、
5. 万葉クリニック 子どものこころセンター絆、6. 奈良県立医科大学 人間発達学

P17-2 チック症に対するオンライン心理教育教材の有効性の検討

○野中 舞子^{1·2}、松田 なつみ^{2·3}、藤原 麻由²、江里口 陽介⁴、佐々木 宏太²、金生 由紀子^{2·5}
1. 帝京大学文学部、2. 東京大学医学部附属病院こころの発達診療部、
3. 白百合女子大学人間総合学部、4. 世田谷用賀クリニック、5. 全国療育相談センター

P17-3 注意欠如多動症および自閉スペクトラム症に合併したトウレット症男児の音声・運動チックにチペビジンが効果を示した1例

○橋 真澄¹、山崎 史暁²、焼田 まどか³、佐々木 剛²
1. 千葉大学総合安全衛生管理機構、2. 千葉大学医学部附属病院子どものこころ診療部、
3. 学而会木村病院

P17-4 入院による行動療法的アプローチとフルボキサミンが有効であったトウレット症候群を伴う自閉スペクトラム症の1例

○平澤 桃子、長沢 崇
東京都立小児総合医療センター 児童思春期精神科

P17-5 トランスジェンダー女性の事例を用いた講義が与える当事者イメージへの影響

○松原 愛¹、武田 俊信²
1. 龍谷大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻、2. 龍谷大学心理学部

2日目 11月 14日 (金) H会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ 研修室 603

10:10-11:10

ポスター 10

学校精神保健 2

司会：井川 典克（いかわクリニック）

P10-1 岡崎市における医療と教育の連携による不登校対策について

○長井 典子¹、松沢 麻衣子^{2·3}、福本 由紀子^{1·3}、高橋 ゆま^{1·3}、大賀 肇^{3·4}
1. 岡崎市民病院 小児科、2. 岡崎市民病院 新生児小児科、3. 岡崎市こども発達センター、
4. 三河病院

P10-2 小中学生におけるインターネットゲーム依存と精神的健康度および QOL との関係

○久保木 智洗^{1·2}、篠山 大明^{3·4}、本田 秀夫^{3·5}
1. 信州大学大学院総合理工学研究科、2. 山梨県立大学 人間福祉学部福祉コミュニティ学科、
3. 信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室、4. 信州大学医学部 精神医学教室、
5. 信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部

P10-3 小中学生向けの新しい孤独感尺度—KULoS—の開発

○小曾根 洋紀¹、寺田 光璃¹、横山 華月¹、柴山 枝里佳¹、田中 早苗³、亀谷 仁郁⁵、村山 恭朗^{2·3}、
辻井 正次^{3·4}、菊知 充^{3·5}
1. 金沢大学大学院人間社会環境研究科、2. 金沢大学人間社会研究域、
3. 金沢大学子どものこころの発達研究センター、4. 中京大学現代社会学部、
5. 金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学

P10-4 改訂サッター・アイバーグ児童生徒の行動評価尺度 (Sutter-Eyberg Student Behavior Inventory-Revised : SESBI-R) の適用年齢拡大に向けた予備的研究

○松本 慶太¹、加藤 郁子²、加茂 登志子³
1. 大阪市立総合医療センター 児童青年精神科、2. さいたま市子ども家庭総合センター、
3. 若松町こころとひふのクリニック

P10-5 新潟いじめ予防・介入プログラム：学校でのいじめ被害にあった児童・青年のメンタルヘルスを促進するためのモデル提案

○笠原 寛之¹、杉本 篤言¹、吉永 清宏^{1·2}、江川 純¹
1. 新潟大学医歯学総合病院、2. 新潟県立精神医療センター

11:20-12:20

ポスター 14

統合失調症・ARMSなど

司会：赤間 史明（東海大学医学部付属病院）

P14-1 初潮前より周期的に多彩な精神症状を呈した月経関連精神病の症例

○湯淺 慧吾¹、大坂 陽子²、安本 真衣²、佐野 滋彦¹、亀谷 仁郁¹、宮岸 良彰¹、廣澤 徹²、菊知 充¹

1. 金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学、
2. 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科児童青年期精神医学講座

P14-2 統合失調症症状を呈した2例の考察

○百済 さゆり²、久保 洋一郎²、青木 悠²、高山 真衣²、川端 康雄²、矢藤 来未²、大西 尚哉²、藤本 健士郎²、岡山 達志^{1・2}、木下 真也²、金沢 徹文²

1. いわくら病院、2. 大阪医科大学神経精神医学教室

P14-3 小児科・精神科臨床におけるChild Psychosis-risk Screening Systemの導入：Child Behavior Checklist (CBCL) を用いた新たなアプローチ

○濱崎 由紀子^{1・2}、阪上 由子³、上羽 智子⁴、六田 泰央⁵、磯部 昌憲⁵

1. 京都女子大学現代社会学部、2. 医療法人藤樹会滋賀里病院、
3. 滋賀医科大学医学部小児科学講座、4. 済生会守山市民病院小児科、
5. 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室

P14-4 可逆性脳梁膨大部病変 (reversible splenial lesion syndrome; RESLES) を呈し、幻覚妄想状態となつた男児の一例

○小林 有里、千代田 高明、佐藤 彩、佐藤 亜希子、松本 貴智、板垣 俊太郎
1. 福島県立医科大学附属病院

P14-5 母親の死を契機に制汗剤の習慣的吸引を開始し、吸入剤依存症に至った14歳男児の治療経過

○平田 真之将^{1・2}、魚谷 和史²、小瀬 朝海¹、紀本 創兵²
1. 和歌山県立こころの医療センター、2. 和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室

14:40-15:40

ポスター 18

精神療法・心理療法など3

司会：島内 智子（聖マリアンナ医科大学 神経精神科）

P18-1 自閉スペクトラム症児との面接において「遊ぶこと」を共有する意義

－実母不在の自分と向き合う過程－

○竹内 澄子¹、伊藤 千晶¹、荒川 志保¹、岩垂 喜貴²、齊藤 万比古¹
1. 松戸東口たけだメンタルクリニック、2. 駒木野病院

P18-2 テーブルトーク・ロールプレイングゲーム (TRPG) を用いた集団療法の実践 1
－治療構造についての考察－

○中里 容子、平田 平、太田 智佐子、高嶋 裕子、大江 舞、入砂 文月、山登 敬之
1. 明治大学子どものこころクリニック

P18-3 テーブルトーク・ロールプレイングゲームを用いた集団療法の実践 2
－自閉スペクトラム症を持つ小学6年生男児の症例に沿って－

○平田 平、中里 容子、太田 智佐子、高嶋 裕子、大江 舞、入砂 文月、山登 敬之
明治大学子どものこころクリニック

P18-4 児童精神科外来におけるオープンダイアローグの手法に基づいた診療の取り組みと現状報告

○山路 由夏、中村 哲也、大原 伸騎、永野 志歩
高知県高知市病院企業団立高知医療センター こころのサポートセンター

P18-5 小児期から思春期における登校・生活状況と学習意欲・自己評価との関連

○河野 由依¹、服部 小太朗¹、仲田 真理子¹、瀬戸川 剛^{2・3}、森 昭憲⁴
1. 筑波大学・行動神経内分泌学研究室、2. 富山大学・医学部、
3. 富山大学・アイドリング脳科学研究センター、
4. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

2日目 11月14日(金) | 会場 ハピリン 3F ハピリンホール

9:00-10:30

シンポジウム 11

限局性学習症とその周辺領域

司会：末田 慶太郎（札幌市子ども心身医療センター 児童精神科）

司会：柳生 一自（北海道医療大学 心理科学部 臨床心理学科 教授）

S11-1 限局性学習症への認知神経科学的アプローチ

北 洋輔（慶應義塾大学 文学部 准教授）

S11-2 認知プロセスに基づく限局性学習症のアセスメントー読解モデル活用と書字困難の多因子的理解ー

奥村 智人（大阪医科大学 小児高次脳機能研究所 特務講師）

S11-3 児童精神科における限局性学習症の評価、診断の重要性：演者の実践の紹介

末田 慶太郎（札幌市子ども心身医療センター 児童精神科）

S11-4 東京都立大塚病院における限局性学習症に対する支援について

～医療現場での実践的なLD支援の報告～

久保田 康介（東京都立病院機構 東京都立大塚病院 児童精神科 医員）

10:40-12:10

シンポジウム 14

児童思春期病棟における子どもの秘密と嘘

司会：堀川 直希（のぞえの丘病院 医局 院長）

司会：佐々木 宏太（東京大学医学部附属病院 こころの発達診療部）

S14-1 入院患者の秘密と嘘への看護師の葛藤と苦悩

木戸口 和樹（医療法人翠星会 松田病院 看護部 病棟看護師長）

S14-2 児童思春期病棟における子どもの秘密と嘘 多摩あおば病院に入院する子ども達

～開設4年目の現状～

清野 聰子（多摩あおば病院 4病棟）

S14-3 児童思春期病棟での秘密と嘘をめぐる対応について

佐久間 瞳貴（社会医療法人あさかホスピタル 児童思春期診療部 部長）

S14-4 「嘘と秘密について」－向陽台病院での経験から－

横田 周三（医療法人 横田会 向陽台病院 児童精神科 理事長）

指定発言：関 正樹（大湫病院 児童精神医療センター）

16:20-17:50

シンポジウム 19

改めて、精神力動的な視点を児童思春期の治療に生かす

司会：堀川公平（のぞえ総合心療病院 医局 理事長・院長）

S19-1 治療共同体に基づく児童思春期患者への看護－子供達へ関わりこそが精神科看護の未来を拓く－
川野 豊（医療法人コミュノテ風と虹 のぞえ総合心療病院 看護部 看護部長）

S19-2 児童思春期の入院治療で行う精神力動的な視点を生かしたチームアプローチ
堀川 直希（のぞえの丘病院 医局 院長）

S19-3 改めて、精神力動的な視点を児童思春期の治療に生かす
－児童心理治療施設の子ども達との治療共同体－

菊池 清美（社会福祉法人風と虹 筑後いづみ園 名誉施設長）

S19-4 精神力動の視点から見た森田療法の現在－思春期青年期臨床への適用と展開
山下 洋（九州大学病院 子どものこころの診療部 特任准教授）

S19-5 アタッチメント理論に基づく子どもと養育者への治療的支援
吉田 敬子（医療法人コミュノテ風と虹 メンタルクリニックあいりす）

12:20-13:20

共催セミナー3（ヤンセンファーマ株式会社）

ADHD患者の小児期から成人期への移行支援

司会：菊知 充（金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学 神経科精神科）

演者：石崎優子（関西医科大学総合医療センター 小児科）

13:30-14:20

教育講演 8

子どもの孤立とゲーム、ネット～嗜癖とどう向き合っていくのか～

司会：田中 容子（府中刑務所 医務部）

演者：吉川 徹（愛知県西三河福祉相談センター 西三河児童・障害者相談センター）

14:40-16:10

シンポジウム 16

テクノロジーを用いた子どもへの発達支援

司会：片桐 正敏（北海道教育大学旭川校 教育発達専攻特別支援教育分野 教授）

司会：熊崎 博一（長崎大学医学部 精神神経科学教室 主任教授）

S16-1 対話型小型ロボットを活用した発達支援の可能性

吉川雄一郎（大阪大学 大学院基礎工学研究科）

S16-2 AIによる臨床支援の革新：臨床行動情報学を基盤とした第4世代の臨床心理学

横谷 謙次（徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 准教授）

S16-3 発達障害児支援におけるテクノロジー活用：行動の定量化と自動フィードバックの可能性

松田 壮一郎（筑波大学 人間系 助教）

S16-4 発達障害支援におけるロボットの果たすべき役割

熊崎 博一（長崎大学医学部 精神神経科学教室 主任教授）

2日目 11月14日(金) J会場 ハピリン 4F リハーサル室

9:00-10:00

一般口演 11

自施設の取組 3

司会：宮脇 大（大阪市立総合医療センター 児童青年精神科）

011-1 読字障害（発達性ディスレクシア）の学業不振の実態と読み書き・文章読解・英語指導 第1報：

福井県の中学生ディスレクシアの学業不振の実態、特に深刻な英語の不振

○平谷 美智夫²、滝口 慎一郎²、清水 宏樹²、杉江 直哉^{2・3}、為国 順治⁴、原 恵子⁵、藤岡 徹⁶、平谷 清吾^{2・7}、松浦 直己¹

1. 三重大学教育学部、2. 平谷こども発達クリニック、3. 名古屋大学大学院、4. 嶺南西特別支援学校、5. 上智大学言語科学研究科、6. 福井大学教育学部、7. 松原病院精神科

011-2 読字障害（発達性ディスレクシア）の学業不振の実態と読み書き・文章読解・英語指導 第2報：

平谷デイジー教室における発達性ディスレクシアへの情報通信技術活用型読解指導の実践：読解力・タイピング・語彙支援の多層的アプローチ

○清水 宏樹¹、杉江 直哉^{1・3}、為国 順治⁴、原 恵子⁵、藤岡 徹⁶、平谷 清吾^{1・7}、滝口 慎一郎¹、平谷 美智夫¹、松浦 直己²

1. 平谷こども発達クリニック、2. 三重大学教育学部、3. 名古屋大学大学院、4. 嶺南西特別支援学校、5. 上智大学言語科学研究科、6. 福井大学教育学部、7. 松原病院

011-3 読字障害（発達性ディスレクシア）の学業不振の実態と読み書き・文章読解・英語指導 第3報：

平谷デイジー英語教室での取り組み：杉江式英語フリガナ法を用いた英単語認知トレーニングによる指導効果

○杉江 直哉^{1・2}、松浦 直己³、清水 宏樹²、為国 順治⁴、原 恵子⁵、藤岡 徹⁶、平谷 清吾^{2・7}、滝口 慎一郎²、平谷 美智夫²

1. 名古屋大学大学院、2. 平谷こども発達クリニック、3. 三重大学教育学部、4. 嶺南西特別支援学校、5. 上智大学言語科学研究科、6. 福井大学教育学部、7. 松原病院精神科

011-4 医療現場におけるペアレント・トレーニング基本プラットホーム版の有用性

—ハートランドしげさんこどものこころ診療センターにおける効果検証—

○久保 信代^{1・2}、太田 あかね¹、秦 香苗¹、岡崎 康輔¹、河野 いずみ¹、松浦 広樹¹、根來 秀樹¹
1. 一般財団法人信貴山病院ハートランドしげさんこどものこころ診療センター、2. 関西福祉科学大学心理科学部

011-5 TAIYO Project2025－小児科・精神科・児童精神科の地域医療連携推進計画－

○佐々木 剛^{1・2}、山崎 史暁^{1・2}、廣瀬 祐紀^{1・2}、永野 顯信¹、村山 紗香^{1・3}、小池 友紀¹、早津 龍之介^{1・2}、林 瑞子^{1・2}、御園 覚夫¹、篠田 葉々³、阿久津 実彩³、川口 恭央^{1・2}、高橋 純平⁴、久能 勝^{5・6}、倉田 勉^{2・7}、石川 真紀⁸、橘 真澄⁹、細田 豊¹⁰、中里 道子¹¹、磯野 友厚¹²、青木 勉¹²、篠田 直之⁴、安藤 咲穂¹³、志津 雄一郎¹⁴

1. 千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部・精神神経科、2. 千葉大学大学院医学研究院 精神医学、3. 千葉大学大学院医学研究院 認知行動生理学、4. 千葉市立青葉病院 児童精神科、5. 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター、6. 平安堂こころのクリニック、7. ふさのくにメンタルクリニック、8. 千葉県こころセンター、9. 千葉大学 総合安全衛生管理機構、10. 同仁会 木更津病院、11. 国際医療福祉大学成田病院 精神科、12. 総合病院国保旭中央病院 神経精神科、13. 千葉県こども病院 精神科、14. 医療法人双和会 志津クリニック

10:10-11:10

一般口演 13

自施設の取組 4

司会：才野 均（北海道立子ども総合医療・療育センター精神科）

013-1 読字障害（発達性ディスレクシア）児のタイピングスキル形成に対する入力情報の提示の工夫：ディスレクシアには聴覚提示様式が視覚提示様式より有効である

○石谷 稔孝¹、平谷 清吾^{2・3}、滝口 慎一郎²、平谷 美智夫²、松浦 直己¹

1. 三重大学教育学部、2. 平谷こども発達クリニック、3. 松原病院精神科

013-2 児童病棟への患者受け入れに関する当院の試み

辻 里花

愛知県精神医療センター

013-3 児童思春期病棟入院患者を対象とした弁証法的行動療法の要素を用いた暴力への取り組み

○高里 文香¹、加藤 志保²、吉岡 真吾¹

1. 愛知県精神医療センター、2. 愛知県医療療育総合センター中央病院

013-4 のぞえの丘病院における「からだグループ」という居場所

～ことばにすることが難しい子どもたちへのからだをとおした関わり～

長島 裕

医療法人コミュノテ風と虹 のぞえの丘病院

11:20-12:20

一般口演 15

外来・入院統計 3

司会：根來 秀樹（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしげさん）

015-1 若年女性に急増する自殺とその家族背景についての考察

○久納 一輝、松本 和美、山本 佳将、吉見 謙一、佐野 樹、森川 将行
三重県立こころの医療センター

015-2 感覚プロファイルによる自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症の感覚特性比較

○岩屋 悠生^{1・2}、高田 加奈子¹、松本 美菜子¹、今村 要介¹、香月 大輔¹、山根 謙一¹、山下 洋¹
1. 社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院、2. 医療法人横田会 光陽台病院

015-3 児童思春期病棟における行政支援と入院期間の関連：後方視的記述研究

○別府 翼¹、森田 由佳¹、神蘭 淳司¹、安部 泰弘¹、植木 悠介¹、梶原 真理¹、坂本 奈緒²、大治 太郎¹

1. 福井県立病院、2. 福井県こども療育センター、3. 育ちのクリニック津田

015-4 福井県こども療育センターでの初診時問診表の受診目的の検討

○齋藤 志織¹、川谷 正男²、津田 明美³

1. 福井県立病院、2. 福井県こども療育センター、3. 育ちのクリニック津田

14:40-15:40

一般口演 18

その他 1

司会：野邑 健二（名古屋大学心の発達支援研究実践センター）

O18-1 ベンチコートの奥に思いを秘めた男児の治療経過について

○箱島 有輝、山本 啓太、板垣 琴瑛、稲崎 久美、水本 有紀、宇佐美 政英
国立健康危機管理研究機構国府台医療センター

O18-2 都立小児総合医療センターにおける子どものこころ専門医研修

○長沢 崇

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科

O18-3 三重県大里地区子どものこころ専門医研修施設群における研修に関するアンケートのまとめ

○大橋 浩¹、大槻 一行²、中西 大介²
1. 国立病院機構 三重病院 小児科、2. 三重県立子ども心身発達医療センター 児童精神科

O18-4 入院治療により著しい改善を得た強度行動障害を伴う自閉スペクトラム症の一例

○矢野 瑞季、海老島 健、長沢 崇
東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科

15:50-16:50

一般口演 21

その他 2

司会：柿元 真知（三重県立子ども心身発達医療センター医療部診療科）

O21-1 神経線維腫症 1型の高磁場 MR スペクトロスコピ－認知特性の神経基盤の検討－

○佐々木 彩恵子¹、磯部 昌憲³、庄司 りん²、六田 泰央²、森本 佳奈²、砂田 桃²、山田 晶子⁴、
上月 遥³、村井 俊哉^{2·3}
1. 京都大学医学部附属病院病院 小児科、2. 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座、
3. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、
4. 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端作業療法学講座

O21-2 転換性障害が疑われた発作性ジスキネジアの1例

○稻川 優多¹、柳橋 達彦²
1. 精神医学講座、2. とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科

O21-3 外国にルーツをもつ児童の受診におけるコミュニケーションに関する支援ニーズの検討

—豊田市こども発達センターのぞみ診療所におけるアンケート調査を通して—

○久保 美衣子、新美 恵理子、神谷 真巳、若子 理恵、高橋 倭

豊田市子ども発達センター

O21-4 脳霧症状を呈し生活障害において家族支援を要した long COVID の 14 歳女児

○名嘉山 賀子¹、石橋 孝勇²、照屋 美波²、大城市子²
1. 琉球大学病院 育成医学講座（小児科）、2. 琉球大学病院 精神科神経科、

17:00-18:00

一般口演 24

強迫症・チック症など 1

司会：篠山 大明（信州大学医学部附属病院）

O24-1 難治性強迫性障害の病態に局在不明焦点でんかんの関与が示唆された一例

○佐藤 亜希子¹、千代田 高明¹、小林 有里¹、佐藤 彩¹、和田 知絵¹、伊瀬 陽子¹、松本 貴智¹、
國井 泰人^{1·2}、増子 博文¹、板垣 俊太郎¹

1. 福島県立医科大学神経精神医学講座、2. 東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野

O24-2 重症トゥレット症候群の小学生女児の入院経過

○大橋 瞳巳、宇佐美 政英、箱島 有輝、稲崎 久美、水本 有紀
国立国府台医療センター

O24-3 脳動脈奇形破裂による脳出血後に強迫行為を伴う器質性精神障害を発症した 1 例

○森崎 敦夫、海老島 健、長沢 崇
東京都立小児総合医療センター

O24-4 高用量アリピラゾールの使用により自我違和感の表出が可能となり治療が進んだ強迫症の一例

○関口 真理子、吉田 賢、海老島 健、長沢 崇
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科

O24-5 パニック発作を伴う重症強迫症の児童に対する多面的な曝露療法：症例報告

東 琢磨
福井県立病院こころの医療センター

2日目 11月 14日（金）K会場 コートヤード・バイ・マリオット福井 4F 芙蓉の間

9:00-10:30

症例検討 3

司会：岩佐 光章（横浜市総合リハビリテーションセンター 発達精神科）

スーパーバイザー：大石 聰（独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こども病院）

C3-1 京都地域支援者が関係構築に難渋していた複雑性心的外傷後ストレス障害の若年女性に対し、出産を機に多機関連携支援を行うことができた一症例

桑原 明子¹、飯田 直子¹
京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学

10:40-12:10

若手講演

司会：幅田 加以瑛（福井大学 医学部 精神医学）

Y1-1 「モーズレイの光」が教えてくれたこと～愛・尊厳・祈り～
眞田 陸（福井大学 医学部 精神医学）

Y1-2 子どもたちと奏でる精神医学

福元 進太郎（福井大学 医学部 精神医学）

Y1-3 放課後教室 Together の挑戦：子どもと大学生が共に育つ居場所づくり
船木 陽介、平野 陽士（福井大学 医学部）

12:40-15:10

映画上映「大きな家」

15:20-16:50

症例検討 4

司会：田中 容子（府中刑務所）

スーパーバイザー：笠原 麻里（医療法人財団青渓会 駒木野病院）

C4-1 性被害およびいじめを背景とし、解離性同一症を伴う複雑性心的外傷後ストレス障害と診断された
13歳女性

島田 園子¹、堀内 愛佳²、水野 有香¹、渡真利 真治¹、友田 明美²、小坂 浩隆¹

1. 福井大学医学部附属病院精神医学、2. 福井大学医学部附属病院子どもこころ診療部

18:30

懇親会

3日目 11月 15日 (土) A会場 AOSSA 8F 福井県県民ホール

9:00-10:30

シンポジウム 20

児童青年期におけるコンサルテーション・リエゾン精神医学

司会：高橋 秀俊（高知大学 医学部・寄附講座 児童青年期精神医学 特任教授）

司会：中土井 芳弘（独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター児童精神科）

S20-1 子どものコンサルテーション・リエゾン精神医学の特徴

庄 紀子（神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科 部長）

S20-2 児童青年期の摂食症診療における多施設連携

鈴木 太（上林記念病院 こども発達センターあおむし）

S20-3 児童青年期における心臓移植・心不全領域のコンサルテーション・リエゾン精神医学

—子どものサイコカルディオロジー

疋地 道代（国立循環器病研究センター 精神神経科）

S20-4 小児腎不全・腎移植における精神科医の役割

押淵 英弘（東京女子医科大学 医学部・精神医学講座 准教授）

S20-5 災害時における子どものリエゾン診療

本田 教一（公益財団法人 舞子浜病院 精神科 病院長）

10:40-12:10

シンポジウム 25

性加害少年の実態と治療について

司会：定本 ゆきこ（京都少年鑑別所 医務課 医務課長）

司会：上野 千穂（京都市児童福祉センター診療所 診療療育課 診療所長）

S25-1 児童相談所でできる性加害少年へのサポートとは

上野 千穂（京都市児童福祉センター診療所 診療療育課 診療所長）

S25-2 少年鑑別所で見る性加害少年の現状と治療への課題

定本 ゆきこ（京都少年鑑別所 医務課 医務課長）

S25-3 子どもと性加害—包括的地域トリートメントの試み

齊藤 章佳（西川口榎本クリニック 副院長）

12:20-13:20

共催セミナー 4 (武田薬品工業株式会社)

ADHD 治療における薬物療法～ADHD 女子例も含めて～

司会：小坂 浩隆（福井大学医学部 精神医学）

演者：堀内 史枝（愛媛大学大学院 医学系研究科 児童精神医学講座）

13:40-14:40

特別講演 3

こどもの自殺対策の現況について

司会：岡田 俊（奈良県立医科大学 精神医学講座）

司会：三上 克央（東海大学医学部 総合診療学系精神科学）

演者：小野 雄大（こども家庭庁 こども家庭庁支援局総務課）

15:10-15:40

閉会式

3日目 11月 15日 (土) B会場 AOSSA 8F リハーサル室

9:00-10:00

一般口演 25

摂食症 3

司会：生地 新（まめの木クリニック）

O25-1 思春期の摂食障害患者が治療に向き合えるまでの体験

○中島 道子¹、川端 智子¹、古株 ひろみ¹、尾関 祐二²、増田 史²

1. 滋賀県立大学人間看護学研究院、2. 滋賀医科大学 精神医学講座

O25-2 4症例の入院治療からうかがえる回避・制限性食物摂取症（ARFID）の病態の複雑さ

○原田 健一郎、光井 瞳、藤井 優子、佐藤 裕子、樋口 文宏、中川 伸

山口大学医学部附属病院 精神科神経科

O25-3 長浜赤十字病院における小児科病棟と精神科病棟での摂食障害治療について

○池田 仁、沖野 剛志

長浜赤十字病院

O25-4 児童思春期摂食症診療の年齢層による比較検討

○磯部 昌憲、米田 拓矢、栗添 恵理、山田 真穂、柴田 直人、辻元 健太郎、上月 遥
京都大学医学部附属病院

10:10-11:10

一般口演 28

摂食症 4

司会：杉坂 夏子（福井厚生病院 ストレスケアセンター）

O28-1 インスリンオミッショントリートメントを呈した1型糖尿病併存の神経性過食症の一例

○中村 佳夏¹、和久田 智靖¹、竹林 淳和¹、高貝 就²

1. 浜松医科大学医学部附属病院精神科神経科、2. 浜松医科大学児童青年期精神医学講座

O28-2 学童期に初診した「食べた後嫌悪するべき結果が生じることへの不安」を呈する回避・制限性食物

摂取症の外来3症例における治療の個別性に関する検討

○樋口 文宏、原田 健一郎、光井 瞳、中川 伸

山口大学医学部附属病院 精神科神経科

O28-3 広汎性拒絶症候群の治療経過中に尿閉を伴うDysfunctional Voidingを合併した11歳女児

○小尾 誠治、稻川 優多、柳橋 達彦

自治医科大学附属病院

O28-4 自閉スペクトラム症、1型糖尿病を合併した摂食障害症例を通じて

○中谷 圭吾^{1・2}、佐々木 祥乃²

1. 田宮病院、2. 東京科学大学病院